

日本科学哲学会

第57回(2024年)大会

期日：11月30日(土)・12月1日(日)

場所：関西大学 千里山キャンパス 第3学舎

大会参加費：無料(非会員の方でもご参加いただけます)
所在地：〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

11月30日(土)

研究発表(10:00-12:00)

《A会場(A101)》(10:00-12:00)

司会：1-2 二瓶 真理子(岩手大学)、3-4 北島 雄一郎(日本大学)

- 車田 研一(福島工業高等専門学校)・・・《放射能》言説は、いま、どう整理しうるか？
- Kang Kiwon(大阪大学)・・・ブラックボックス化する科学における信頼の確保
- 佐藤 公亮(北海道大学)・・・非機械論的世界を情報概念として捉える利点の考察
- 中塚 海渡(大阪大学)・木村 元(芝浦工業大学)・・・因果推論を用いた量子物理学における因果律の考察

《B会場(D302)》(10:00-12:00)

司会：1-2 三木 那由他(大阪大学)、3-4 藤川 直也(東京大学)

- 明日 誠一(青山学院大学)・・・Mosquitoes carry malaria. - can から見た総称文の風景 -
- 藤川 直也(東京大学)・・・否認可能性の多様性について
- 三上 温湯(東京都立大学)・・・「解明」と「謎なぞ」：言語の創発を考える
- 山田 竹志(早稲田大学)・・・ダメットの顕示の要求に対するマクダウエルの批判

《C会場(D401)》(10:00-12:00)

司会：1-2 源河 亨(九州大学)、3-4 横山 幹子(筑波大学)

- 道田 蒼人(京都大学)・・・目的意味論の群論的形式化とその哲学的含意
- 神崎 祥輝(一橋大学)・・・〈拡張された心〉仮説の道具主義的転回
- 永山 智一(埼玉工業大学)・・・記憶の生理反応と精神現象の概要モデル
- 中島 未櫻乃(法政大学)・・・善なる意志をもつことと、幸福な世界にいることの関係について

《D会場(D501)》(10:00-12:00)

司会：1-2 飯塚 理恵(広島大学)、3-4 横路 佳幸(名古屋学院大学)

- 岸 哲生(大阪大学)・・・集団信念の正当化：「知りえること」との関係から考える
- 阿部 裕彦(無所属)・・・保証と共感
- 野上 志学(三重大学)・・・認識的阻却要因の分類
- 須田 悠基(東洋大学)・・・二重機能証言と知識・行為リンク

理事会・評議員会・企画委員会（12:05-13:30）《委員会会場（D502）》

総会〔石本賞授与式〕（13:35-14:15）《D101（ソシオ AV ホール）》

シンポジウム（14:20-16:50）《D101（ソシオ AV ホール）》

共催：「分析哲学における新たな哲学方法論の可能性の検討」（22K00004）（代表者：鈴木 貴之）

「感情の科学と哲学」

オーガナイザー：鈴木 貴之（東京大学）

提題者：大坪 庸介（東京大学）、大平 英樹（名古屋大学）、戸田山 和久（大学改革支援・学位授与機構）

特別講演（16:55-17:55）《D101（ソシオ AV ホール）》

「美的経験の認知脳科学」

講演者：石津 智大（関西大学）

司 会：伊勢田 哲治（京都大学）

情報交換会（懇親会）（18:00-19:00）《A101》

参加費：なし

12月1日（日）

研究発表（9:30-12:00）

《A会場（A101）》（10:00-12:00）

司会：1-2 大塚 淳（京都大学）、3-4 井頭 昌彦（一橋大学）

1. 清水 右郷（京都大学・日本学術振興会）・・・がん研究の社会認識論の可能性を広げる
2. 森田 紘平（神戸大学）・北村 直彰（島根大学）・・・科学的形而上学はいかに可能か
3. 黒木 薫（三田国際学園）・岡本 茉麻（三田国際学園高校）・・・心理学における構成概念と科学的モデル
4. 佐藤 聡太（北海道大学）・・・科学モデル形成における DEKI 説をベースとした存在論的議論

《B会場（D302）》（9:30-12:00）

司会：1-3 新川 拓哉（神戸大学）、4-5 太田 雅子（東洋大学）

1. 大石 旦（立正大学）・・・クオリアの気づきと知識
2. 池原 優斗（北海道大学）・・・「魂の哲学」としての意識研究
3. 坂口 恭久（放送大学）・・・意識の脳科学と哲学的問題
4. 池田 健人（大阪大学）・・・心身相互作用の認識論と存在論：主観性はポパーの相互作用主義を挫折するのか
5. 河 智世（無所属）・・・うつ病は薬で治療すべきか？

《C会場 (D401)》(9:30-12:00)

司会：1-3 村上 祐子 (立教大学)、4-5 西條 玲奈 (東京電機大学)

1. 秋葉 豊 (名古屋大学)・・・技術の媒介理論による AI システムの責任ギャップ問題再考—理論的 AI 倫理と設計の接続—
2. 臼杵 靖剛 (北海道大学)・・・生命科学に見る非日常性：現存在と人工知能の時間論
3. 水谷 亮介 (九州大学)・・・認識様相の表出主義と義務様相の表出主義
4. 鈴木 真 (名古屋大学)・・・いわゆる「欲求のパラドックス The Paradox of Desire」について
5. 坂本 美理 (東京大学)・・・子どもを作り育てることをめぐる「生物学的つながり」の道徳的位置：「生物学的つながり」の「自然さ」を批判的に検討する

《D会場 (D501)》(9:30-12:00)

司会：1-2 斎藤 浩文 (滋賀大学)、3-5 五十嵐 涼介 (京都大学)

1. 鈴木 潤 (北海道大学)・・・弱化を除いた線形論理の決定不能性
2. 竹内 泉 (産業技術総合研究所)・川本 裕輔 (産業技術総合研究所)
・・・前件強化による後件変更：デフォルト論理と状態変化
3. 井上 朋彦 (名古屋文理大学)・・・範疇性は数学理論の virtue になり得るか？
4. 鈴木 聡 (駒澤大学)・・・Bounds of Full-Blooded First-Order Nominalism
5. 伊藤 遼 (早稲田大学)・・・数学の実践における実質推論と形式推論

理事会・編集委員会・企画委員会 (12:05-13:05) 《委員会会場 (D502)》

研究発表 (13:15-14:15)

《A会場 (A101)》(13:15-14:15)

司会：1-2 柏端 達也 (慶應義塾大学)

1. 飯川 遥 (一橋大学)・・・明示化としての哲学：直観あるいは常識の擁護
2. 李 太喜 (東京大学)・・・自由意志論における非因果的リバタリアニズムの検討

《B会場 (D302)》(13:15-14:15)

司会：1-2 峯島 宏次 (慶應義塾大学)

1. 山下 俊介 (大阪大学)・・・図を重ね合わせる技法の記号論的分析：Goodman 哲学の応用
2. 榎本 啄杜 (大阪大学)・・・情報概念の意味論的な側面をどのように測定するか

《C会場 (D401)》(13:15-14:15)

司会：1-2 佐金 武 (大阪公立大学)

1. 坪井 祥吾 (一橋大学)・・・形而上学的必然性の真理メーカー意味論による分析
2. 米倉 悠平 (千葉大学)・・・文脈と塗り潰し：真理の多元論を擁護する

《D会場 (D501)》(13:15-14:15)

司会：1-2 和泉 悠 (南山大学)

1. 小関 健太郎 (東京大学・日本学術振興会)・・・義務論理における存在・非存在とその問題
2. 本田 茜吏 (無所属)・・・品詞って科学の概念なんだろうか

ワークショップ (14:30-16:45)

《A会場 (A101)》(14:30-16:45)

I. 「AI から考える言語・知性・科学」

オーガナイザー：大塚 淳 (京都大学)

提題者：竹内 孝 (京都大学)、包含 (京都大学)、横井 祥 (東北大学)

《B会場 (B302)》(14:30-16:45)

II. 「オープンサイエンスをデータの側面から考える」

オーガナイザー：榎本 啄杜 (大阪大学)

提題者：榎本 啄杜 (大阪大学)、甲斐 尚人 (大阪大学)、長門 裕介 (大阪大学)

《C会場 (D401)》(14:30-16:45)

III. 「宇宙人の言語・宇宙人の論理・宇宙人の構造」

オーガナイザー：遠藤 進平 (シドニー大学)

提題者：木本 周平 (法政大学)、清水 雄也 (京都大学)、田中 凌 (東京大学)、立花 幸司 (千葉大学)